

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 柘野地域包括支援センター

1 施設の管理運営

- ① 総合相談支援
- ② 権利擁護事業
- ③ 包括的・継続的ケアマネジメント
- ④ 介護予防ケアマネジメント

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ①地域ケア会議の開催：個別地域ケア会議にて個別課題の抽出、評価・分析を踏まえ、学区課題や圏域課題におとし各地域ケア会議を開催する。
- ②戸別訪問事業と地域の見守り訪問との連携。独居高齢者の把握と地域の見守り体制構築への支援。
- ③災害時の備え（圏域地域ケア会議にて実施）3回/年実施。対象：介護・医療事業所、地域役員
- ④もっと活性化委員会：北山3学区（山間地）の特有課題に対して、行政・区社協・原谷包括と連携し、課題の共有を行った。計2回実施。
- ⑤各学区課題への取り組み：地域とデイサービスが協力した上賀茂サロン・柘野サロン・雲ヶ畑サロンに対し圏域デイサービスや小規模多機能施設が、地域資源として協力が行えるよう働きかけを行った。
- ⑥医療と介護の連携強化：圏域防災取り組みを軸とし、医療PJチームを立ち上げる。「平時の連携を強化し有事の際に発揮する関係作り」を目指し医療機関が主催となるケースカンファレンスを2回/年開催。
- ⑦圏域ネットワーク連絡会の充実：Ⅰケアマネジャー部会：事務局会議1回/月開催、研修会・事例検討会開催4回/年 Ⅱデイサービス部会：1回/2か月 Ⅲ医療チーム部会：ケースカンファレンス2回/年

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者（センター長 看護師等 介護予防ケアマネジメント業務兼務）1名
主任介護支援専門員 2名（包括的・継続的ケアマネジメント業務兼務）
看護師等1名（介護予防ケアマネジメント業務・センター長業務兼務）
社会福祉士1名（総合相談・支援業務及び権利擁護相談業務と兼務）
介護支援専門員3名、事務員1名（非常勤）

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

優先的に発注するよう努めた。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 介護予防支援給付対象者数(実績値)

3105 人

(2) 相談延べ件数(実績値)

1835 件

(3) 収支実績

ア 令和6年度収入状況(単位:円)

委託料	26,707,700
介護保険収入	15,365,055
その他	165,741
収入計	42,238,496

イ 令和6年度支出状況(単位:円)

人件費	35,288,936
事業費	2,758,182
委託費	1,962,576
小額修繕費	65,516
その他	77,838
支出計	40,153,048

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

<把握のための手法例>

- ・意見用紙及び回収箱を受付等に常時設置
- ・施設ホームページに意見投稿フォームを設置

(2) 利用者満足度把握の結果

(1)において意見投稿なし

(3) 意見等への主な対応状況

意見投稿の際には、内容に応じて速やかに対応していく。

7 評価（指定管理者自己評価）

①地域ケア会議

1) 地域ケア会議Ⅰ ※行方不明リスクのある高齢者や地域で見守りが必要な高齢者ケース9件

※地域や医療機関から声の上がったケース14件

2) 地域ケア会議Ⅱ及び活動など 4学区：3回/年開催 参集開催

*学区の特色に応じた協議を行っている（例：雲ヶ畑：災害、柵野：高齢者把握・見守り体制強化等）

*地域の居場所サロン支援：圏域のDSや小規模多機能・有料老人ホーム等の協力にてサロン開催（3学区）

*雲ヶ畑学区：「北山3学区もっと活性化委員会」下半期：1回（12/16）山間地特有課題、現状の共有

*地域の高齢者見守り・連携強化に向け地域役員・行政等の他、議題内容に応じCMや医療機関参加を呼びかけ実施。

*各学区の避難訓練・自主防災会総会等に参加し、防災における地域・事業所との連携強化。

3) 地域ケア会議Ⅲ 開催3回/年 開催場所：北消防署

1, 2回目：参加者：施設及び居住系の事業所、医療関係機関、行政関係機関等 【内容】「地域多職種連携で取り組む防災！」圏域防災PJチーム（備え班・救護班・情報共有班・地域力向上推進班）PJ班活動の共有

3回目：参加者：61名 参加者：防災PJメンバー、行政、地域役員（自治連合会、自主防災会、消防分団、民生児童委員、老人福祉員、学区社会福祉協議会等）【内容】「大地震が起きた時、私たちの町、北区はどうなるの？」「大地震に向けて地域で必要な準備」

②柵野圏域ネットワーク連絡会

①ケアマネジャー部会：事務局会議1回/月開催。企画：勉強会1回、事例検討会2回 ②デイサービス部会：1回/2か月開催主に防災チーム（地域力向上推進班）の活動内容について検討 ③医療PJチーム立ち上げ ケースカンファレンス開催2回/年 ④柵野圏域防災プロジェクトチーム事務局会議 6回/年 メンバー：医師、薬剤師、DS部会代表、CM部会代表、連携支援センター、包括支援センター

*防災プロジェクト 4つの班 活動開始継続 備え班、救護班、情報共有班、地域力向上推進班

③運営推進会議 事業所数（特養：3小規模：6DS：2有老：3） 出席回数12回

④見守り活動促進事業 独居高齢者戸別訪問 担当4学区実施済

⑤障害を理由とする差別の解消に向けた職員研修により理解を深めた。